

60 キトラ古墳

—玄武，青龍，朱雀，そして，白虎がいます—

弘行君あけましておめでとう。

平成 21 年・丑年の年賀状にウシを飼っている御杖高原牧場のことを書きました。それから，毎年，干支に関係するお話を書いて 3 年，平成 24 年は辰年です。「辰といえば龍，奈良県にはリュウなんかいないから，今度はおじさんもお手上げだ。参った。参ったという年賀状が来るだろう」と言っていたとお父さんから聞きました。いいえ，今年の年賀状はリュウのお話です。

リュウといえばキトラ古墳です。この石室にファイバースコープを入れて調査が行われ，玄武が見つかったのは昭和 58 年のことでした。



玄武は亀と蛇がからまっている四神の 1 つです。四神というのは，玄武，青龍，朱雀，白虎の 4 つの靈獣のことで，玄武は北を，青龍は東を，朱雀は南を，白虎は西をつかさどると考えられています。当時から貴重な

資料とされましたが，本格的な調査が再開されたのは 15 年後のことでした。阪神淡路大震災で被害を受けていないかという心配とこの貴重な文化財で村の活性化をという村長さんのお考えだったといいます。このときの調査成功の瞬間を当時の明日香村教育長森井實先生が，次のようにお書きになっています。

「調査は順調に進行，レーザーによって玄武の計測も行われ，東壁

には、汚れもひどいが青竜の赤い舌の先も捉(とら)えられました。そして、午前 11 時 50 分、カメラレンズを 7 mm から 15 mm に切り替えられると、高松塚のそれより鮮明な玄武が、モニターテレビに飛び出してきたのです。更に、西壁には、コミカルな顔と真っすぐにそそり立たせている虎斑模様の尾、躍動的な翼をもつ後ろ足が写し出されると、もう調査団のテント内は興奮の坩堝(るつぼ)となりました」

森井實先生は、高等学校生物の先生で、後には指導主事として県内の小・中・高等学校の理科教育の充実に尽くされました。深い見識をお持ちになり、天文の分野についても分かりやすい指導をしてくださったことを思い出します。

さて、キトラ古墳の石室の 4 面に四神が描かれ、天井には星座の図がありました。これは世界最古の天文図です。森井先生は「古代のサイエンス・プラネタリウムの出現」と書いておられます。

四神は方位だけでなく季節も担当しています。玄武は冬を、青龍は春を、朱雀は夏を、白虎は秋をつかさどるのです。それぞれの色に季節をくっつけてみましょう。青春、青葉若葉の春です。朱夏、真っ赤な太陽が照りつける夏です。秋は白、白秋です。そして、玄冬、玄は黒を表します。玄米は精白していない黒いお米、玄人は素人(しろうと)の反対です。そして、青春、朱夏、白秋、玄冬は人生の各年代を表しているという人もいます。青春は若く元気な年代、朱夏は人生真っ盛りの年代、おじさんは白秋か玄冬のどちらなのでしょう。

キトラ古墳の四神や天文図を見ることはできませんが、飛鳥歴史公園館を見学し、キトラ古墳の周辺を歩いて大昔の天文学を想像してみてもどうですか。写真は、特別史跡キトラ古墳保護覆屋です。

(平成 24 年 1 月・中学校 3 年生の弘行君宛て)

スポットの案内

キトラ古墳のことも勉強できる飛鳥歴史公園館は明日香村平田 538 にあって、近鉄吉野線飛鳥駅から徒歩 7 分、12 月 29 日～1 月 3 日以外は開館、入館は無料です。開館時間は 9:30～17:00(冬季は 16:30 まで)です。問い合わせは電話 0744-54-2441 まで。

理科のワンポイント「星の数」

「星の数ほどある」は限りなくたくさんあることを表します。では、私たちが見ることのできる星はいくつあるのでしょうか。昭和 30 年、大学で習った天文学では、「肉眼で見える星はおよそ 8600、しかし、地平線より下にある星は見えないから 4300、そして、地平線近くの星はけむっていたりして見えないのでおよそ 3000 個」と聞きました。晴れた夜空を眺めてこれが 3000 個かと思いました。それから 60 年近くが過ぎ、見える星の数が減りました。街の灯が増え、防犯上の気配りから街灯が行きわたり、暗かった田畑にまでハウス栽培の電灯がつきました。

夜空の様子については、環境省や日本環境協会などが全国星空継続観察を実施しています。この調査では、天頂近くのはくちょう座付近の天の川が見えるかどうかを調べているのですが、「夜空が明るくて見えない」「近くに照明があって見えない」を合わせて、平成 23 年の夏は 27.8%、平成 22 年では 30.5%にのびります。こんな状態ですから、市街地では 3 等星までの約 150 個ほどではないかと言われていきます。子どもの頃住んでいた山の中の一軒家で見た満天の星を懐かしく思い出し、あんな経験をこれからの子どもたちにさせてやることはできないのかとさびしく思います。